

3月12日(火)

悲しみから目的へと進んでいく

聖書朗読 ネヘミヤ 1:1~11

あなたは知っているのだ。あなたの神、主だけが神であり、誠実な神である。主を愛し、主の命令を守る者には恵みの契約を千代までも守られる・・・ 申命記 7:9

ネヘミヤは王の献酌官——重要な立場でした。彼は毒が盛られていないことを確かめるためにワインを味見し、王の宮殿を守るような仕事に従事していた者でした。彼は帝国の中で最も信頼され、影響力のある役人の一人でした。彼は幸福でさえあったでしょう。

しかしエルサレムからの知らせは良い物ではありませんでした。城壁は崩され門は焼け落ちていました。どうすればよかったですか？ 彼はまず悲しみのうちに跪くことで応じました——もしかしたら四か月の間。聖書箇所を読み終えると、しかし、ネヘミヤは悲しみから立ち上がる決断へと進んでしました。彼はどのようにしてそこに到達したのでしょうか？

彼は実際の状況を推し量るために綿密に話を聞きました。彼は喪失感に深く嘆きました。彼は断食して神様に祈り、状況を変える助けとなるための彼の取り組みがいかに真剣なものであるかを神様に示しました。彼の祈りは神様の偉大な力と愛、イスラエルの背きと罪、そして彼らが状況をひっくり返す助けとなる神様の備えを告白しました。彼の悲しみは行動の計画へと変わっていったのです！

神様はいつも愛を持って、進んで、私たちが人生をひっくり返す手助けをしてくださいます。神様にはいつも、私たちの人生を神様の良い目的に向かうよう方向修正する備えがあります。私たちに必要なのは立って行動する準備をすることです。

讃美歌 第二編 20

祈り 素晴らしいお父様！ あなたは本当に愛があり、強くそして慈しみ深い方です。私たちがあなたと共に歩むときに、自分の目的をあなたの目的と同調させ、信仰と勇気をもって行動できますように。

イエス様の御名により。アーメン。

ロン・グッズマン
テキサス州 サンアンジェロ

3月13日(水)

嘘つきに対処する

聖書朗読 ネヘミヤ 6:1~16

悪をたくらむ者の心には欺きがあり、平和を図る人には喜びがある。 箴言 12:20

ネヘミヤがエルサレムに戻って城壁の建て直しを始めたとき、多くの人が彼に敵対しました。彼らはネヘミヤのことをからかいました。彼らはネヘミヤに会合を持ちかけることでネヘミヤの時間を奪おうとたくらみました。ネヘミヤは彼らの招待にtZb『私は大工事をしているから、下って行けない。私が工事をそのままにして、・・・工事が止まるようなことがあってよいものだろうか。』と答えました。すると彼らは王に嘘をついて、ネヘミヤが自ら王になるために反逆を率いているのだと告発しました。ネヘミヤは「あなたはそのことを自分がかってに考え出したのだ」答えました。ネヘミヤは力を求めて祈りました。

しかし彼らは頑固でした。彼らは夜にネヘミヤを殺しに来るものから逃げるために、神殿の中に隠れるようにと彼を脅そうとしました。ネヘミヤは神殿に隠れることは神様に与えられた役割を放棄することであることを知っていました。彼は答えました。『私のような者で、だれが本堂に入って生きながらえようか。私は入って行かない。』。彼の敵はまたしても失敗したのです。

ネヘミヤはそこでこれらの嘘つきたちに対処するために、神様に祈りました。そして神様はただそれを実行しました。ネヘミヤの「この工事は、私たちの神の助けによってなされるのだ」という言葉の真実性を知ったことで、ネヘミヤの敵対者たちは自信を失い、諦めたのです。城壁は再建されました！ 今日の私たちの仕事のためになる、なんと素晴らしい物語でしょう。

讃美歌 452

祈り 親愛なるお父様。あなたの力が敵対者や失望に対処してくださることを信じることによって、私たちが仕事の中でより効果的に、敬虔に成長できるよう助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ジャニス・グリーンリーフ
アラバマ州 ハンツビル

3月14日(木)

そういう時だから

聖書朗読 エステル 4:9~17

だから、今、私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、実に、神なのです。
創世記 45:8

ヨセフの人生は、いつも私に見かけ通り以外の方法で自分の人生の状況を見るように気付かせてくれました。嫉妬深い兄弟たちに囲まれた、特別に気に入られた子どもになったらどんな感じか想像してみてください。次に、ヨセフが兄弟と、その後には雇い主や囚人仲間から受けた不当な仕打ちを想像してみてください。彼は自分自身のせいではない過ちのせいで、究極のお気に入りから困難の時に陥ったのです。

一方でエステルは、国のすべての乙女の中から王様によって女王として選ばれ、生活は彼女にとってはこれ以上ないほど良いものでした。エステルは皆から好意を受け、王様は完全に彼女に魅入られていました。ヨセフとは違い、エステルは自らもまた試練に直面するまでは、何もかもが思い通りに進んでいました。

双方に言えることは、彼らが権力を得たのは彼らが自分の権力を強化したからではなく、『そういう時』だから、そして二人とも試練に向かって立ち上がったからです。私が神様から与えられた試練は国全体を救うようなものではありませんが、大体は手痛い反応を受けそうな時に愛、与え、仕えるという試練です。神様はあなたや私に、私たちの時の中で、神の御国における自分たちの役割を果たすよう召しておられます。

讚美歌 380

祈り 愛なる主よ。あなたが私に計画していることがヨセフのような忍耐か、エステルのような勇気か、あるいはその両方を必要とするものなのかは分かりませんが、あなたが私を召したとき、人生経験や心の用意によって備えられた自分自身を捧げることができるように祈ります。

イエス様の御名により。アーメン。

カイ・バーナム・エヴァンズ
テキサス州 ラボック

3月15日(金)

祝う時、覚える時

聖書朗読 エステル 9:18~32

ただ、あなたは、ひたすら慎み、用心深くありなさい。あなたが自分の目を見たことを忘れず、一生の間、それらがあなたの心から離れることのないようにしなさい。あなたはそれらを、あなたの子どもや孫たちに知らせなさい。 申命記 4:9

休日のお祝いを嫌いな人がいるのでしょうか？ 休日のように家族や友達と一緒に食事と楽しみを与えるものは他にありません。多くの休日は、特定の人や歴史的な出来事に名誉を与えたり記念するために取っておかれるものです。それはユダヤ人にとって真実であり、真実であり続けるのです。

エステル記は神様がご自身の民をペルシャから連れ出したのは、エステル女王の勇気のおかげであると告げています。ユダヤ人はこの出来事の物語をこれからの世代にも受け継いでいきたいと望み、そのためにプリムの祭が始まりました。それはユダヤ人が、ご自身の民を救われる神様のすばらしさの物語を語り継ぐ喜びと、宴と、そしてプレゼント交換の日でした。

私たちは自らの物語に名誉を与え、それを語っているのでしょうか？ それは休日でも構いません。私たちは神様の優しさと慈しみを祝い、私たちが神様からどれほどの恵みを受けているかを分かち合うことができます。あなたの物語を受け継ぎましょう！

讚美歌 第二篇 167

祈り おお、主よ。あなたは私になんと良くして来てくださったことでしょうか。ありがとうございます。私が、あなたがどれほど私を祝福してくださっているかを大胆に分かち合うことができるよう助けてください。私があるのすばらしさを祝うことができるよう助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ローズマリー・マクナイト
テネシー州 ヘンダーソン

3月16日(土)

星のように輝く

聖書朗読 詩篇 8編

彼らの間で世の光として輝くためです。

ピリピ 2:16

山の頂上、砂漠の真ん中、あるいは海の上の船など、余分な光の無い場所から星を見ることは、決して忘れられない経験です。そうです。そこには神様がいらっしゃるのです。星々を、神様がそれを見えるようにしたものとして見た後なら、神様を信じることはずっと容易になります。詩篇8編は、ダビデによる神様の創造に向けた讚美であり、称賛であり、崇拜です。『私たちの主、主よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。』

世界の大きな都市の中や周りに住んでいて星々を見たことのない何百万人もの人々のことを考えるのは、なんと悲しいことでしょう。都市の光と人口の建物、彼らが知っている創造はただそれだけなのです。世界を統べ、彼らを愛していらっしゃる神様がおられるということを、私たちはどうしたら彼らに示すことができるでしょうか？

ピリピ2:15, 16におけるパウロの答えは、神様に従う人々を彼らに示す、というものです。非難されるところなく純真で、曲がった邪悪な世代の中で傷のない生き方をする神様の子どもたち。それが、天と地に神様の創造の証拠をもたらす星なのです。

讚美歌 第二編 17

祈り 親愛なる主よ。あなたの創造と、あなたが私たちを愛して下さることに感謝します。私たちが、私たちの救い主であり贖い主であるキリストの光を人々に示す星であることができますように。

イエス様の御名により。アーメン。

ジム・ラバンネーリ
テキサス州 ケイティ

3月17日(日)

正しい者には何が出来るか？

聖書朗読 詩篇 11:1~7

主はあなたの時を堅く支え・・・

イザヤ 33:6

意地悪な男であったサウル王は、無実の若い男ダビデを殺そうと決心した。もし神の民のリーダーが衝動的で、悪意のある人間だったら、その臣下には何が期待できるでしょうか？ それゆえ、ダビデは詩篇11:3で『抛り所がこわされたら正しい者に何ができようか。』と尋ねたのです。

私たちの不確実な世界は、同じ疑問をもたらすかもしれません。「正しい者に何が出来るか？」私たちは継続的な祈りによって神様のもとに逃げることができます。ソロモンは『主の名は堅固なやぐら。正しい者はその中に走って行って安全である。』(箴言18:10)と言いました。現実の安全と、人生の中での永続的な安全は、教育者や、映画スターや政治家の中ではなく、真実で生きている神様の中に見つかるものです。神様を信じ恐れをゆだねる時、私たちは神様の平安を見出します。私たちが神様のみことばを何度も読み返すとき、私たちは、自分たちのことを思い起こさせる、とてもたくさんの人々や時代をその中に見ます。そして神様はその中心にいて、約束を守り、力と希望を与えてくださいます。

讚美歌 298

祈り 父なる神様。私たちの世界の中で、また今日私たちがいる場所で、私たちがあなたの中に平安と安全を見出すことができるよう助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

エドワード・J・ロビンソン
テキサス州 テレル